

令和5年度 西東京市立東伏見小学校 校内研究

今日的な課題

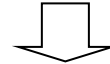
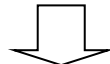
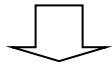
○社会の情報化が進展し、多くの情報の中から自分にとって必要な情報を選択したり効果的に活用したりする能力が求められている。

学校教育目標

- 心もからだも健康な子ども
- ◎よく考え実行する子ども
- なかよくはげましあう子ども

児童の実態

- すすんでICTを活用し、意欲的に学習に取り組む児童の姿が見られる。
- 多くの情報の中から学習問題に沿った情報を適切に選択することや、目的や相手に応じて分かりやすく表現することに課題がある。



研究主題

情報活用能力の育成 ～情報を収集、整理・分析し、分かりやすく表現する子～

研究の仮設

教科・領域等のあらゆる学習において、問題を解決するために、コンピュータなどの情報手段を適切に用いて指導の工夫をすることで、情報を収集し、整理・分析し、相手や目的に応じて分かりやすく表現することができるだろう。

目指す児童像

	低学年	中学年	高学年
情報収集力	身近なところから問題に関する情報を収集することができる。	問題解決のために必要な情報を収集することができる。	目的に応じて情報手段を選択し、必要な情報を収集することができる。
情報整理・分析力	収集した情報から、必要な情報を見付けることができる。	収集した情報の要点を捉え、情報同士の違いやつながりを見付けることができる。	収集した情報を比較・分類したり関係付けたりして、活用することができる。
情報表現力	伝えたい内容を明確にして、分かりやすく表現することができる。	目的に応じて伝えたい内容を明確にし、分かりやすく表現することができる。	相手や目的に応じて表現手段を選択し、分かりやすく表現することができる。